

第3回 子ども

白

熱

会

議

御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター 未来をつくる教育フォーラム 2018

小学生の子どもたちが社会で活躍し始める2030年には、人工知能やテクノロジーの発達により多くの人々の暮らし方・働き方が変わり、今ある半数以上の職業がなくなり、現代にも増して「人にしか作れない価値、活かせない能力」が問われる時代がやってくると言われていています。そんな混沌を極める社会においては、多様な価値観を理解し、正解のない問いに向き合い、互いの考えをよく聴き、それをもとに考えを深め、他者と「共にアイデアを創る」という力が必要になると、私たちは考えております。

そこで、これらの未来を担う子どもたちが、自らの意見を表現するだけでなく、議論を通して「共にアイデアを創る力」を養う学びの機会として「子ども白熱会議」を本年も実施いたします。事前選考で選ばれた数名が壇上に登り、身近にある社会課題・問いについて、自らが思うことを自分の言葉で表現し、他者の意見を聴きながら、そこにいるメンバーでその課題についてどう向き合うのか、そしてどんな「未来をつくる」ためのアクションを取るのかについて話し合います。

子どもたちのユニークかつ、自由な発想に満ちた意見を期待しております。

子どもパネリストを募集しています！

第3回子ども白熱会議の実施要項・応募方法はこちら

<https://asmol-hakunetsu.jimdo.com/>



◆第1回子ども白熱会議



い。人間だと隕石（いんせき）が飛んで来たら犠牲になる」自分で描いた掃除ロボットの絵を見せて「弟を吸い込みそうになったら緊急停止ボタンが必要」など、子どもならではの発想のもと、活発な意見が交わされていました。

◆第2回子ども白熱会議

第2回のテーマは「社会で活躍するとは？」当日、会議を開始するまでテーマを告げられなかったにも関わらず、子どもたちは見事な対応力と表現力を発揮してくれました。

「僕の将来の夢は歴史学者。だから、こんなふうに活躍したい!」「これから社会を支える人にいろんなことを教えてあげる人が活躍していると言えるのではないか。」「社会で活躍するとは、人を助けることなのではないか。」

「活躍する人が増えれば、世界はどんどん平和に向かっていく、人が進化していく。」「活躍するためには、チャレンジし続けることが大切だと思う。」「これからの時代に活躍するためには、人間らしさが求められるのではないだろうか。」「話し合い（会議）をすることがすごく大切だ。」など、見守る大人も思わずうなるような意見が次々と飛び出し、会場は賞賛の拍手に包まれました。



第1回のテーマは「人工知能」。

まず、感心させられたのは、子どもたちのディスカッションの仕方。きちんと相手の意見を受け止めて、自分の意見を述べていました。まさにASMoLが提唱している「Yes, and!」（相手の意見を「Yes」で受け、その後「and」で自分の意見を述べる。）

「人工知能」について、一人が、「人工知能は答えが一つの数学は得意」というと、「国語は問題文に意味が隠されていて人工知能には難しい」「宇宙飛行士は人工知能がい